



処方入力時の規格単位間違いにご注意ください

国内において処方入力時の規格単位間違いによる死亡事故が報告されています。

当院でも同様の間違いによるインシデントが報告されています。オーダー時は薬剤の量が目的とする量であるかを今一度ご確認ください。以下に規格単位間違いの処方例を提示します。

●間違いの例

薬剤名	予定した量	オーダーした量	間違いの理由
水溶性プレドニン20mg	5mg	5A (100mg)	処方単位間違い
ハイドレアカプセル 500mg	500mg	5Cp (2500mg)	製剤規格の認識違い
ファモチジン散10%	20mg	20g (2000mg)	製剤量と成分量の間違い
ヘマンジオルシロップ 小児用0.375%	5mg	5mL (18.75mg)	処方単位間違い

<処方のポイント>

錠剤・カプセル剤・注射薬

処方入力画面では錠、カプセル、アンプル、バイアルなどがデフォルト単位になっています。mgでオーダーされる場合は単位の変換が必要です。単位変更時は用量の自動変換はされませんので、用量についても変更してください。

散剤

散剤は成分量をmg、製剤量をgで表し、製剤量(g)がデフォルト単位になっています。製剤量1gあたりに含まれる成分量に注意してオーダーをお願いします。

水剤

処方入力画面ではmLがデフォルト単位になっています。1mLあたりに含まれる成分量に注意してオーダーをお願いします。

他者からの口頭指示により処方される場合は用法用量、規格単位について添付文書等で確認をお願いします。

不明な点につきましては、薬剤部・医薬品情報管理室(内線 7083)までご連絡下さい。

(文責：丹羽今日子)